



水遊び保育の様子



パー三先生と英会話遊び保育



保育参観目で作った楽器で
楽しく演奏とリズム遊び保育



元気いっぱい砂遊び



絵の具 楽しいね



青森中央短期大学 附属幼稚園

「生きる力」の基礎は豊かな遊びと学びから —未来を創る子どもを育てるために—

幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎が培われる重要な時期である。しかし近年、少子化・核家族化など社会の急激な変化に伴い、人間関係の希薄化や、家庭や地域の教育力の低下が大きな課題となってきた。次代を担う子どもたちの健全育成のために、今、幼稚園、保育園の教育が期待されている。

青森中央短期大学附属幼稚園、関連保育園では、子どもたちが現在を最もよく生き、望ましい未来を創り出せるように、「生きる力」を培っていきたくと考えている。

本園の教育目標は、「健康で明るく、心豊かな子どもの育成」である。そのために、指導する際の視点として、「心と体の健康、環境とのかかわり、人とのかかわ

り、言葉の育ち、表現する力」を掲げ、日常の保育活動を構成している。

また、本園の特色ある保育内容として、水遊び保育、英会話遊び保育、リズム・体育遊び保育、数遊び保育、ことば遊び保育を行っている。プールや大学のさまざまな施設を活用したり、幼児保育学科や食物栄養学科の学生や留学生と交流したりする活動にはダイナミックさがあり、附属幼稚園ならではの豊かな遊びと学び体験が、「生きる力」の基礎づくりにつながっている。私たち附属幼稚園のスタッフは、「すべての子どもたちは良質な教育を受ける権利がある」という時代の要請に応えるべく、日々精進していきたくと考えている。



*認可外保育施設「ばんびくらぶ」の開設

幼稚園と保育園の機能を統合する「幼保一体化」や、潜在的な保育園の待機児童の解消を図る「子育て支援」など、子育てする若い世代を応援する施策が話題になっている。本学園では、青森中央短期大学1号館に「ばんびくらぶ」を開設した。大学のマンパワーを活用し、安心していただける保育に努め、地域の方たちの役に立てれば幸いであると考えている。同じく附属第三幼稚園内に「ひよこくらぶ」を開設している。子育てに関する相談や、急な保育が必要になった時など、いつでも活用して頂きたい。

連絡先 **ばんびくらぶ** 764 — 2600 (附属第一幼稚園内)
ひよこくらぶ 726 — 2112 (附属第三幼稚園内)



◀「ばんびくらぶ」のお友達▶



◀「ひよこくらぶ」のお友達▶

青森田中学園報

「こぶしの花」第78号

発行・編集「こぶしの花」編集委員会

発行日：2010年9月1日発行

〒030-0132 青森市横内字神田12番地

tel: 017-728-0131

fax: 017-738-8333

http://www.aomoricgu.ac.jp

http://www.chutan.ac.jp

<子ども同士の遊びや親同士の楽しい会話がはずんでいますね>

青森中央学院大学

キャリア支援センターより ～キャリア・ワークショップ～

昨年度を上回る厳しい就職状況がつづく中、本学学生は、日々実践型プログラムに挑戦して、社会人基礎力を養成中です。

3年次学生は、青森県男女共同参画プラザ「アピオあおもり」の支援を受けた「大学生のための将来設計プログラム」に参加しました。プログラムは、講演「知って得する労働のリアル」と、これを参考に「働く時に大切にしたいものは何か」を論じるグループ・ディスカッションとの2部構成となっていました。グループ・ディスカッションを採用試験に取り入れる企業・団体は多く、その練習は必須です。

2年次学生は、昨年に引き続きeコマースに取り組んでいます。今年は準備・販売期間とも昨年度より長く設定し、商品開拓、販売許可交渉、商品頁作成に加えて、宣伝広報活動にも取り組んで、売り上げ増を目指しています。

また1年次学生は、新プログラム「コミュニケーション・プラクティス」に参加しています。内容は過去にも実施したことがあるチームでミッションを遂行するタイプのコミュニケーションゲームですが、今年の特徴は上級生が運営にあたり、よりコミットの度合を高めていることです。

本学では、常にプログラムを再構成し、質の高いキャリア支援教育を目指しています。

(鈴木克成教授・キャリア支援委員会委員長)



市町村長リレートーク

平成20年度より、大学の一層の地域貢献を目的として学生と市民がともに学ぶ公開講座「市町村長リレートーク」をスタートさせた。地域における様々な課題について市町村長が何を考え、どのような具体的な施策を講じているかを探り、今後における地域マネジメントのあり方について学ぶものとなっている。

3回目となる今年度も統一テーマをこれまで同様、「人づくりと地域社会」として、講師には、秋田県八峰町長・加藤和夫氏、青森市長・鹿内博氏、三戸町長・竹原義人氏の3名を迎えた。各回において、講師は地域に対する想い、町づくり・人づくり等地域に根ざした施策について熱弁をふるい好評を博した。

本学では、今後もこうした活動を通じて地域貢献を果たしていきたいと考えている。



国産産直事業モデルの試行実験

地域マネジメント研究所では、国際産直事業モデルとして、タイ産マンゴーのマハチャノ種0.8トンを直輸入した。これに先立って、6月にサンプル輸入を行い、国内の様々な流通チャンネルに商品評価を依頼していた。輸入マンゴーはタイ産最高級マンゴーで、国内スーパーの商品に比べて2ランクも高品質であるため、お中元市場に適した商品となろう。すでに専門家からは高い評価を得ており、今後はブランドイメージの形成が重要課題となろう。また、7月には販売試行として直売を中心に、ネット販売や会員組織向け販売、仲卸を介した販売などを実施し、次年度の事業プラン検討に必要な情報を収集した。

今後、事業モデルの構築に向け、検討を進めるとともに、効果的な事業推進体制整備の在り方などについて考えていく。

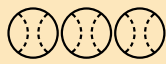


学園創立記念スポーツ大会

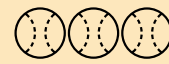
6月19日、創立記念ドッチボール大会を開催致した。学友会では、1ヶ月以上前から大会に向けて準備に取り組んできたが、準備段階で問題が発生したり、当日もハプニングがあったり大変だった。しかし、みんなで協力し合い、工夫をし、何とか成功することが出来た。色々課題はあるが、その反省点を9月に開催される翔麗祭へのステップとして活かしていきたいと思う。

最後に、参加頂いた学生の皆さん、先生方、職員の方々、ありがとうございました。来年も多くの方の参加をお待ちしております。(学友会会長3年 高谷温子)





野球部 1部昇格!



主将 松舘豪健

今年赴任した新監督からまず指摘されたことは、チーム内のコミュニケーションが不十分だということであった。そのため、今後控え選手も一緒に戦っていることを再確認するため、練習中も「声掛け」を徹底してきた。その結果、試合では自然に声が出るようになり、全員野球で2部リーグ全勝優勝、続く入替戦も勝利することができた。今後もハイレベルな1部での戦いを勝ち抜く為に、チーム一丸となって精進して参りますので、応援よろしくお願い致します。



部長 岩船彰教授

本学野球部は、平成11年に設立され、翌平成12年には3部優勝、平成13年からは2部に昇格し、以後平成20年までに2度2部優勝を経験している。今年の2部リーグ戦は10戦全勝で完全優勝し、1部との入替戦に臨んだ。初戦は敗退し、1部の壁の厚さを感じたが、続く2試合を連勝し悲願の1部昇格を達成することが出来た。今後は1部に定着し、近い将来、北東北野球連盟の覇者となることを目標としたい。

スポーツ戦績

【バスケットボール部 東北地区大学体育大会第3位!】

準決勝で戦った東北学院大学は、昨年一部リーグで優勝したチームだ。そのチームに第3クォーターまでリードし、あと一歩のところまで追いつめた白熱した試合だった。今季は、一部リーグへの昇格を果たしたい。また、女子部も一部リーグの岩手大学と競い合うまでになっており、同じく一部リーグ昇格を目指して頑張っている。
(キャプテン 東海林光)

【ボウリング部 東北選抜大会個人優勝!】

今回の大会では、地元が会場ということで、いつもより気合いを入れて臨んだ。東北の各県から選抜された人達との勝負は一瞬たりとも気を抜くことが許されず、決勝では、優勝が見えてきてから、いきなり極度のプレッシャーに襲われた。しかし、優勝争いをしていたのは同じ青森県人の年下の後輩だったので、絶対に負けたくないと思い、なんとか頑張れた。

今回は地元というのがプラスに働いた、県外の大きな大会で、もっと成績を残せるよう頑張りたい。(経営法学部2年 根深滯)

強化サークル部員に学習支援

強化サークル9部に所属する部員は、大会での好成績と学業の両立を目標に掲げて、日々の学生生活を大切に過ごしている。そこで、これらの学生の学業面での支援として、当センターでは本年度より、毎週月曜日、5校時目を利用して、「指定強化サークル部員学習支援講座」を開講している。

この講座では、基礎専門科目に限り、科目教員による指導を受けることができる。手法として、グループメンバー同士でのノートチェック、課題への取り組み等、通常講義とは異なるやり方が用いられている。部員達は日頃の練習で培った集中力を発揮して頑張っている。

大きな可能性を秘めた彼等の今後に期待したい。



OB通信



拝啓 青森中央学院大学様

私は、マレーシア出身として初めて青森中央学院大学に入学した留学生の一人で、現在はブティックを経営しています。今回卒業後初めて母校を訪問することができました。

今思えば、青森中央学院大学で勉強したことは人生の中でも貴重な体験となっています。後輩の皆さんも在学中にいろいろな経験を積んで、楽しい大学生活を過ごしてください。

敬具

チャン・ウェイ・リン (マレーシア) [写真左]

2003年度卒業 第3期生

拝啓 青森中央学院大学様

私は、2005年3月に卒業して、現在はクアラルンプールでリクルートメントの会社に勤務しています。日本語が使えることと経営法学を学んだことが現在の仕事にとっても役に立っているので、青森中央学院大学に入学したことは良い選択だったと思います。母校を訪問して、良い思い出が数えられないくらい思い出されます。

後輩の皆さんへ! この大学ではいろいろな体験ができますので、皆さんもたくさんのイベントに参加して良い大学生活を送ってください。

敬具

タン・ス・サン (マレーシア) [写真右]

2004年度卒業 第4期生

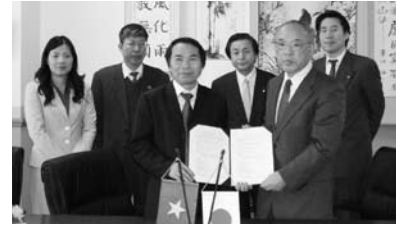
学園共通

国際交流センターより

ベトナム国立貿易大学と共同教育プログラム調印

去る4月22日から25日、ベトナム最難関と言われる貿易大学のホアン・ヴァン・チャウ学長、ダオ・ティー・トゥ・ザン副学長、グエン・ヴァン・ハオ日本語学部長が本学を公式訪問し、昨年より協議を重ねてきた共同教育プログラム実施協定の協定書に調印をした。

この協定締結により、来年より共同教育プログラムによる第1期生を受け入れることになった。



産官学連携事業

(グリーン・ツーリズム型修学旅行誘致事業)

本学、青森県、十和田市、南部町、アジアからの観光客誘致推進協議会が連携して、海外からの修学旅行誘致事業を展開している。

☆☆香港・保良局陳守仁小学校☆☆

4月7日から9日まで教職員・児童あわせて30名を受け入れた。小学生は、十和田市（十和田農業体験連絡協議会）の農家で2泊3日、農業体験を行った。



☆☆タイ国立カセサート大学附属高校☆☆

4月17日から27日まで15名を受け入れた。高校生は、本学で日本語を学習した後、南部町（達者村ホームステイ連絡協議会）の農家で3泊4日、農業体験を行った。



☆☆タイ・泰日工業大学☆☆

短期プログラム（5月2日～10日）15名と長期プログラム（5月2日～30日）の20名を受け入れた。午前には日本語学習、午後には課外活動を行うプログラムで、その中で十和田市（十和田農業体験連絡協議会）の農家で2泊3日、農業体験を行った。



★★ホームページ「あおもり農業体験ガイド」★★

青森県からの受託事業（アジアと結ぶ国際グリーン・ツーリズム協力員配置業務）で、県内のグリーン・ツーリズム事業の発展を目指し、情報の発信を目的に日本語、韓国語、中国語（繁体字）の3言語によるホームページを作成し、公開した。

http://www.aomoricgu.ac.jp/aomori_gt_guide/jp/index.html

地域との連携活動

国際交流センターでは、国際交流の促進と地域貢献活動を通じ、国際人として活躍できる人材の育成を目指して活動している。

☆☆FSA主催外国料理体験教室☆☆

4月17日、留学生、青森中央短期大学食物栄養学科生、地域住民による外国料理体験教室を実施し、学内および地域との交流を促進した。



☆☆青森南高校外国語科とのボランティア活動☆☆

5月29日、青森南高校外国語科主催の植林ボランティア活動に留学生14名が参加し、高校生とともに植林活動をし、郷土の環境保全の大切さを学んだ。



☆☆青森北高校での交流会☆☆

7月31日、高校生、その保護者、地域住民に対して、韓国と中国の留学生が簡単な日常会話教室、外国料理体験教室の講師を務めた。それぞれの国の文化を楽しみながらの交流会となった。



★★青森県の留学生広報誌「あそさ」WEB版★★

県内の大学等、行政・経済・交流団体で構成する青森県留学生交流推進協議会が毎年発行してきた広報誌「あそさ」を、第20号からWEB版のみで発行することとなり、その初めてのWEB版作成を本学が担当した。

広報誌「あそさ」第20号WEB版は、青森中央学院大学のホームページで公開している。

<http://www.aomoricgu.ac.jp/asosa/>

十和田市連携プロジェクト

青森中央学院大学は、平成20年度に十和田市と連携協定を結び、これまでも十和田湖畔の手づくりマップの作成、海外からのグリーンツーリズムによる修学旅行生の誘致等さまざまな取り組みを行ってきた。

今年度は、短期大学や専門学校も加わり、学生による新たな視点で、十和田湖畔地区の観光活性化を目指した新事業を展開させていく。その第1弾の企画として、十和田湖畔で行われる十和田湖水祭りにて青森中央文化専門学校生による創作ファッションショーと青森中央学院大学の留学生による民族衣装のファッションショーが7月17・18日の両日開催され、会場は活況を呈した。

この他にも、青森中央短期大学学生によるプロジェクト等企画が目白押しである。



『ステキ青森!~大学生が見た青森のス・テ・キをご紹介~』開催

5月4・5日の両日、さくら野百貨店青森店4階イベントホールにおいて、大学コンソーシアム青森主催『ステキ青森~大学生が見た青森のス・テ・キをご紹介~』が開催された。このイベントは青森市内の7大学の大学生が、ピュアな感覚で、青森の『ステキ』を紹介するもので、学生らしいユニークな視点から青森の『ステキ』を紹介した。

本学園からは、幼児保育学科『みんなであそぼう!こどものくに』、食物栄養学科『青森の新しい食材』、学院大学『キラメク十和田湖・奥入瀬の自然』などの展示物のほか、ストリート・ダンス・サークルや、かたりば・サークルが参加、他大学から集まった学生と一緒にイベントを成功させた。



【アンサンブルサークル】

アンサンブルサークルは、現在経験者を含め、16人で活動しています。たくさんの方々のご支援により、7月4日には青森公立大学と合同で、吹奏楽フェスティバルに参加することができ、演奏することができる喜びを強く感じています。今後も、学園祭での演奏やコンクール等の参加を予定しており、勢いのあるサークルにできるよう、努力を重ねていきます。

(経営法学部2年 伊藤遙)



文化サークル新設!

【裁判傍聴サークル】

一人机に向かった勉強は辛い、もっと効率的で楽しく勉強できる方法は?と考え設立したのが裁判傍聴サークルです。このサークルでは、毎月最低一日裁判傍聴を目標としています。事前に傍聴内容を確認、終了後に意見交換の場を設け、他の学生とのコミュニケーションをとりながら理解を深め合うことを目指しています。また法学に関する映画の鑑賞会や、長期休みには勉強合宿をするなど、新しいことにどんどん挑戦していきたいと考えています。

(経営法学部3年 木浪紀子)

【そろばんサークル】

青森田中学園とそろばんとのつながりは、昭和21年の青森珠算簿記学院(現:青森中央経理専門学校)が設立された時に始まりました。附属幼稚園でのそろばん教室を含め、そろばんと共に歩んでいる本学園で、そろばんサークルが発足したのは、ある意味、当たり前だったのかもしれませんが。

このサークルが、学園とそろばんとのつながりを担えるように努めていきたいと思えます。

(顧問 塚本大広)

【企画サークル】

企画サークルはどんな困難にもめげず、楽しいイベントを企画し、できたら他大学などを巻き込んで、実行するというのが目的です。将来的には企画サークルからいくつかのサークルが生まれれば、などと考えています。どんどん企画し提案しようと考えていますので、温く見守って下さい。

(顧問 塩谷未知)



伊達政宗派遣支倉常長・慶長遣欧使節関係海外資料展

図書館情報センター主催

一本学大泉光一教授の作家、遠藤周作・城山三郎氏との交友資料の展示も合わせて

本学大泉光一教授は、日本における「危機管理」の専門第一人者として知られるが、同時に支倉常長及び遣欧使節の足跡を追って、過去50年近くにわたり研究に従事されている。その研究は梅原猛、陳舜臣、山折哲雄ら当代の名だたる歴史学者、作家、宗教学者から高い評価を受け、またその著『支倉常長慶長遣欧使節の真相』(雄山閣)は、2007年、和辻哲郎文化賞を受賞、さらに2010年には、『慶長遣欧使節研究資料集成』(雄山閣)を上梓された。なお、教授の研究はNHKはじめ、日本テレビなど全国放送でもしばしば紹介されている。図書館情報センターでは、教授が所持される資料の展示及び、特別講演会を開催する。

なお、教授は作家・遠藤周作氏、城山三郎氏らとの交友でも知られ、特に城山三郎氏は、その著作に教授を登場させるなど深い交友関係を結んでいる。資料展では、両作家とのやり取りの書簡、写真等、貴重な交友録も展示される。期待されたい。

主な展示物:

- オランダの世界的な地図製作者アブラハム・オルテリウス作『ヌエヴァ・エスパニヤ(現在のメキシコ・合衆国)全地図』(1579年) 原画
- 17世紀のスペイン100レアル銀貨(1633年製)及び8マラヴェリス銀貨(1598-1621年)
- 芥川賞作家遠藤周作の代表作『侍』(第33回野間文芸賞受賞)のメキシコ取材の様子を綴った自筆手紙。その他自筆手紙
- 城山三郎の初期の代表作である支倉常長の末裔を追った小説『望郷のとき-侍・イン・メキシコ-』の取材協力依頼のため大泉光一教授の実父(郷土史家)に宛てた自筆手紙(昭和42年7月付) 他 歴史的資料多数

| | | | |
|-------|-----|---------------|---------------|
| 資料展 | ●会期 | 10月13日~11月12日 | 平日 9:00~19:00 |
| | | | 土曜 9:00~17:00 |
| | ●会場 | 本学1号館1階ギャラリー | |
| 特別講演会 | ●日時 | 10月30日 13:30~ | |
| | ●会場 | 本学7号館 712講義室 | |

青森中央短期大学

青森中央短期大学開学40周年

青森中央短期大学は平成22年で開学40周年を迎えました。
開学40周年を記念し、各学科の特徴を生かした記念企画を開催してまいります。
どうぞご期待ください。



- 開学40周年記念式典
5月21日
於：青森市民ホール

- 40周年記念企画
『SESSIONS ON THE ARTS 2010』
響感 アート交流地点
渡辺源四郎商店演劇公演「修学旅行」
5月21日 於：青森市民ホール

- 看護学科記念講演
「現在から未来へ
～看護職はどこへ向かうのか」
講師：水戸美津子氏
6月12日 於：学術交流会館

- 幼児保育学科記念講座
「ひろみちおにいさんの体操講座」
講師：佐藤弘道氏
7月17日
於：青森県営スケート場



今後の予定

- 専攻科福祉専攻記念講演 「その人らしさを引き出す本当の介護とは」 講師：青山幸広氏
9月11日 (土) 13:00～ 於：学術交流会館921講義室
- 食物栄養学科記念講演 「奇跡のリンゴを育てる～自然から学び、自然を喜ばせる農業」 講師：木村秋則氏
10月2日 (土) 13:30～ 於：学術交流会館921講義室

開花式

去る6月12日に2年次生の開花式が執り行われた。今年で4回目を迎えたが、いつ見ても胸がジンと熱くなる。

本年度は開花式委員会を中心に「自分たちの決意をいかに厳かに形にすることができるか」と1年後期から準備を始めていた。ナイチンゲール誓詞が看護師の倫理観に通ずることに改めて気付き、それを言葉にする重みを感じながら、全員の心をつなげるように何度も練習を重ねた。当日朝には、最後の練習として、配列ごとに誓詞を斉唱して臨んだ。

ナイチンゲール像から「灯火」を受け継ぎ、ナイチンゲール誓詞斉唱。灯火から浮かびあがるキラリとした、そして優しさ溢れる顔つきが印象的だった。2年生のチームが作り上げた開花式であったと思う。これからも各々の力を十分に発揮し、チームとして看護に向かって欲しいと願う。



創立記念運動会～6/12開催～

今年が開学40周年ということもあり、創立記念行事である運動会の開催に向け、いつも以上に力をそそいで準備をすすめました。準備は3月から開始し、去年の反省をふまえながら、種目や内容について何度も話し合いを繰り返しました。また、参加する学生みんなが楽しめるよう、種目内容・ルール検討の他、どの学科のクラスも1位になれるよう、賞のあり方も見直しました。

4月に入り、1年生が加わってからはより具体的な計画を立てていきました。全員が協力的でこれまで以上に一丸となって取り組むことができ、とてもスムーズに楽しみながら準備を進めることができました。そのおかげもあり、充実した運動会を開催することができました。これからは9月にある翔麗祭に向けて、頑張っていきたいと思えます。

(学友会会長 石川真祈)



タイ王立チュラロンコン大学 看護学部の本学訪問

4月21日から27日までタイで最も古く権威のあるチュラロンコン大学の看護学部代表団10名が本学を訪問した。青森中央短期大学看護学科教員と意見交換、連携事業等について協議した。今後、地域の医療・介護・福祉の分野での連携が期待されている。



自分史

「出会い」

食物栄養学科 水 珠子



幼稚園から大学まで24年間教育を受け、この度ご縁があり青森中央短期大学に参りました。これまでの学校教育の中で、最も印象深い出会いは、中学3年生時の恩師との出会いです。その先生は優しい人柄で、誰に対してもありのままの姿でいられるように譲ってくださる本当に有難い先生でした。そしてどんな時も誠実に対応される姿は自信に満ちており、心から信頼しました。その先生が、今の職業に導いてくださったように思います。

大学生の皆さんは、夢の実現に向かい努力しておられると思います。しかしその途中で困難に会うかもしれません。そのような時は、家族、親戚、友達、恋人、本などを頼ってください。逆境の時こそ誠実でいると大切な人が現れ、救いの手を差し伸べてくれます。

誠実な気持ちではじめたことは必ず実を結ぶと信じ、仲間と共に精一杯頑張ってください。

公開講座

「子どもの食品加工教室 ～ソーセージを作ろう!～」

開催

6月5日、青森中央短期大学1号館122実習室において公開講座「子どもの食品加工教室～ソーセージを作ろう!～」を実施致しました。普段お店で買う食材を自分の手で作ることににより、食について楽しみながら学ぶ機会になるのではと考え企画しました。参加した子どもからは、「おいしかった」「もう一度作りたい」、また保護者からは「子どもと一緒に楽しみながら勉強できました」との感想をいただきました。

今後も満足いただける内容を企画していきたいと思っています。



オープンキャンパス

高校生やご家族の方に本学を知ってもらい、進路選択の参考にしていただくため、毎年5回ほどオープンキャンパスを開催しています。教職員や在校生を通じて本学の魅力が伝わるようにと、各学科に関連したミニ体験を通じて接する機会を設けたりして、できるだけ参加者との対話ができるように心がけています。

なかでも在校生との対話はたいへん好評です。また、受験対策など本学受験だけでなく他でも役に立つようなお得なコーナーを設けたりもしています。先日、「オープンキャンパスに行くたびに青森中央短期大学に入りたくなる!」とお話してくれた高校生がいました。これからも「行ってよかった」と思ってもらえるようなオープンキャンパスにしていきたいと思っています。
(広報委員長 高橋佳子)



短期大学実習紹介 ～幼児保育学科・専攻科福祉専攻～

一 学外実習について

教育実習や保育所実習等で実践力を養うことは、幼稚園教諭二種免許と保育士資格を取得する上で大事な科目です。実際に幼稚園や児童福祉施設で子どもたちと一緒に生活しながら保育者として必要な知識や技術、態度を身につけていきます。

介護実習は、専攻科で介護福祉士を目指すうえで大切な科目です。介護の理論と実践の融合にむけて学んでいます。

幼児保育学科 櫻庭裕也

私は教育実習として青森中央短期大学附属第二幼稚園で実習させていただきました。そこで各年齢の子どもの運動機能、言葉・認識能力の発達段階とその過程を観察することが出来ました。また、それに対する保育者の関わり方や配慮の仕方を学ぶことが出来、今後の自分にとってとても有意義な2週間を過ごせました。

水遊び保育や英会話教室などで子ども達と関わる時間がたくさんあり、楽しんで勉強できました。



専攻科福祉専攻 中川敏之

介護実習で、初めてデイサービスセンターへ行きました。毎日の実習のなかで、実践の場で働いている介護福祉士の姿から、利用者ひとりひとりに適した援助を考えていくという姿勢を学びました。日々の授業で学ぶ理論、介護技術の基本を利用者の方の状況に合わせてより適切なものに変化させていくことが大事だとも気づきました。

日々の授業を大切に、利用者から頼りにされる介護福祉士を目指して努力していきたいと思っています。





附属第一・第二・第三幼稚園

浦町保育園

中央文化保育園

思い出いっぱいの一学期



＜40周年おめでとう
～附属第一幼稚園～＞

＜頑張れ！頑張れ 赤組＞



＜白組も頑張れ＞



＜きれいに咲いてね＞



＜ミニトマト・じゃがいも
大きく育ててね。＞



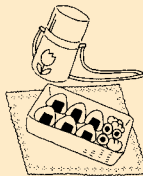
＜大学のお兄さん・
お姉さんが見学に来たよ＞



＜いろんな絵本をたくさん見たよ。＞



＜交通安全教室で
三つの約束を学んだよ＞



＜アップルヒルへ遠足に行ったよ。 遊具で遊んで楽しかったね。＞



青森中央文化専門学校／青森中央経理専門学校

公開講座「大人のメイク講座」開催

6月19日公開講座「大人のメイク講座」を開催しました。「眠っていた服をアレンジできて、またフル活用できそうです。」と、参加者の皆さんは短時間でメイク術を身に付けながら、楽しく過ごしていただきました。



パソコン初心者講座

7月1日より、学生が教えるパソコン初心者講座を開催しました。基本操作、文書作成、インターネット、デジカメ写真などの内容を学生が丁寧にインストラクションしました。



AOMORI春フェスティバル参加!

5月5日青森中三前 昭和通りAゾーンにおいてファッションショーを行い、33点の作品を披露しました。

モデルは青森中央文化専門学校の学生、青森中央学院大学留学生、高校生・専門学校生や一般の皆さんにもご協力して頂き、AOMORIを盛り上げることができました。

第1部 Tシャツとねむっていたジーパンを使用したリメイク☆ショー!!

第2部 文化の学生1人1人が提案!
ファッションスタイリングショー!!



出前講座『10代から学ぶマネー講座』開催

6月10日青森県立弘前工業高等学校にて、出前講座『10代から学ぶマネー講座』を開催しました。

個人を取り巻く経済・金融環境が近年大きくかつ急速に変化し、生活者として個人にも自己責任が求められる場面が増えてきている環境下、日々の生活から切り離すことができない「お金」と向き合うきっかけとなるよう、初歩からの金融リテラシーを体験していただきました。

今回は経理事務コース2年生の山口敬義君（弘前工業高等学校出身）が講師のアシスタントをしました。



創立記念レクリエーション開催

6月11日で、創立64年を迎えました。

6月14日青森市「八甲田憩いの牧場」にて、創立記念レクリエーションを開催しました。

64年を迎えた両校の沿革を聞き、専門学校の歴史を再認識した後、バーベキューやスポーツを楽しみ、交流をはかりました。

レクリエーションを通じて親睦を深め、心身ともにリフレッシュできました。



卒業生 PICK UP

青森中央文化専門学校 平成21年度卒業
坂本 彩華

私は4月からファイブフォックス社に入社し、弘前中三コムサデモードでサービススタッフとして働いています。接客の中で洋服の素材やディテールをお伝えする際に専門学校で学んだ知識が活かされています。また、お客様からの「ありがとう」が何よりの喜びです。これから、お客様に信頼されるスタッフを目指し(私のファンを1人でも多くつくっていきけるように)頑張っています!!



平成21年度 学校法人青森田中学園 決算報告及び事業報告

学校法人青森田中学園は平成21年度決算について、学園監事による監査を受けた後、理事会、評議員会において承認された。その概要は次のとおりである。

主な収入源である学生生徒等納付金を含む帰属収入合計2,075,358千円から基本金組入額168,409千円を控除した消費収入の部合計が、1,906,949千円となった。これに対して、人件費・教育研究経費を含む消費支出合計額は、1,652,883千円となりその結果、254,066千円の消費収入超過になっている。

また、負債に関しては、退職給与引当金の計上、並びに次年度授業料等前受金、期末未払金等以外には、金融機関等からの借入金もなく、健全な財政状況にある。

資金収支計算書

平成21年 4月 1日から
平成22年 3月31日まで

| 【収入の部】 | | | | (単位 円) |
|-------------|---------------|---------------|-------------|--------|
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 | |
| 学生生徒等納付金収入 | 1,516,265,000 | 1,521,870,771 | △5,605,771 | |
| 手数料収入 | 22,845,000 | 23,732,837 | △887,837 | |
| 寄附金収入 | 7,500,000 | 7,494,000 | 6,000 | |
| 補助金収入 | 293,766,000 | 293,409,124 | 356,876 | |
| 国庫補助金収入 | 239,850,000 | 239,860,000 | △10,000 | |
| 地方公共団体補助金収入 | 53,916,000 | 53,549,124 | 366,876 | |
| 資産運用収入 | 23,740,000 | 24,663,148 | △923,148 | |
| 事業収入 | 139,107,000 | 141,579,914 | △2,472,914 | |
| 雑収入 | 40,803,000 | 46,221,257 | △5,418,257 | |
| 前受金収入 | 438,035,000 | 438,889,111 | △854,111 | |
| その他の収入 | 43,450,487 | 39,166,563 | 4,283,924 | |
| 資金収支調整勘定 | △475,626,187 | △473,468,688 | △2,157,499 | |
| 前年度繰越支払資金 | 1,490,608,395 | 1,490,608,395 | | |
| 収入の部合計 | 3,540,493,695 | 3,554,166,432 | △13,672,737 | |

消費収支計算書

平成21年 4月 1日から
平成22年 3月31日まで

| 【消費収入の部】 | | | | (単位 円) |
|-----------|---------------|---------------|-------------|--------|
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 | |
| 学生生徒等納付金 | 1,516,265,000 | 1,521,870,771 | △5,605,771 | |
| 手数料 | 22,845,000 | 23,732,837 | △887,837 | |
| 寄附金 | 23,887,000 | 23,881,866 | 5,134 | |
| 補助金 | 293,766,000 | 293,409,124 | 356,876 | |
| 国庫補助金 | 239,850,000 | 239,860,000 | △10,000 | |
| 地方公共団体補助金 | 53,916,000 | 53,549,124 | 366,876 | |
| 資産運用収入 | 23,740,000 | 24,663,148 | △923,148 | |
| 事業収入 | 139,107,000 | 141,579,914 | △2,472,914 | |
| 雑収入 | 40,803,000 | 46,221,257 | △5,418,257 | |
| 帰属収入合計 | 2,060,413,000 | 2,075,358,917 | △14,945,917 | |
| 基本金組入額 | △170,620,000 | △168,409,225 | △2,210,775 | |
| 消費収入の部合計 | 1,889,793,000 | 1,906,949,692 | △17,156,692 | |

| 【支出の部】 | | | | (単位 円) |
|-----------|---------------|---------------|-------------|--------|
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 | |
| 人件費支出 | 873,000,000 | 883,463,563 | △10,463,563 | |
| 教育研究経費支出 | 418,060,000 | 440,302,289 | △22,242,289 | |
| 管理経費支出 | 77,931,000 | 73,373,909 | 4,557,091 | |
| 施設関係支出 | 55,300,000 | 52,895,107 | 2,404,893 | |
| 設備関係支出 | 45,460,000 | 45,800,637 | △340,637 | |
| 資産運用支出 | 301,481,303 | 295,585,098 | 5,896,205 | |
| その他の支出 | 141,504,675 | 146,731,439 | △5,226,764 | |
| 資金収支調整勘定 | △80,500,000 | △84,962,303 | 4,462,303 | |
| 次年度繰越支払資金 | 1,708,256,717 | 1,700,976,693 | 7,280,024 | |
| 支出の部合計 | 3,540,493,695 | 3,554,166,432 | △13,672,737 | |

| 【消費支出の部】 | | | | (単位 円) |
|--------------|---------------|---------------|-------------|--------|
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 | |
| 人件費 | 873,000,000 | 883,463,563 | △10,463,563 | |
| 教育研究経費 | 671,010,000 | 664,015,424 | 6,994,576 | |
| 管理経費 | 92,241,000 | 85,886,488 | 6,354,512 | |
| 資産処分差額 | 0 | 16,770,002 | △16,770,002 | |
| 徴収不能額 | 0 | 2,748,415 | △2,748,415 | |
| 消費支出の部合計 | 1,636,251,000 | 1,652,883,892 | △16,632,892 | |
| 当年度消費収入超過額 | 253,542,000 | 254,065,800 | | |
| 前年度繰越消費支出超過額 | △14,771,176 | △14,771,176 | | |
| 翌年度繰越消費支出超過額 | 238,770,824 | 239,294,624 | | |

貸借対照表

平成22年3月31日

| 【資産の部】 | | | | (単位 円) | 【負債・基本金・消費収支差額の部】 | | | | (単位 円) |
|------------|----------------|---------------|--------------|--------|----------------------------|----------------|---------------|-------------|--------|
| 科 目 | 本年度末 | 前年度末 | 増 減 | | 科 目 | 本年度末 | 前年度末 | 増 減 | |
| 固定資産 | 8,339,170,763 | 8,241,497,771 | 157,672,992 | | 固定負債 | 126,210,250 | 126,210,250 | 0 | |
| 有形固定資産 | 6,045,473,090 | 6,182,117,012 | △136,643,922 | | 退職給与引当金 | 126,210,250 | 126,210,250 | 0 | |
| 土地 | 1,893,206,662 | 1,876,918,796 | 16,287,866 | | 流動負債 | 568,274,607 | 632,247,377 | △63,972,770 | |
| 建物 | 3,405,293,077 | 3,526,550,702 | △121,257,625 | | 未払金 | 84,962,303 | 56,474,675 | 28,487,628 | |
| その他の有形固定資産 | 746,973,351 | 778,647,514 | △31,674,163 | | 前受金 | 438,889,111 | 441,534,245 | △2,645,134 | |
| その他の固定資産 | 2,353,697,673 | 2,059,380,759 | 294,316,914 | | 預り金 | 44,423,193 | 134,238,457 | △89,815,264 | |
| 流動資産 | 1,785,150,193 | 1,584,320,930 | 200,829,263 | | 負債の部合計 | 694,484,857 | 758,457,627 | △63,972,770 | |
| 現金預金 | 1,700,976,693 | 1,490,608,395 | 210,368,298 | | 第1号基本金 | 9,043,541,475 | 8,982,132,250 | 61,409,225 | |
| 未収入金 | 83,732,000 | 93,712,535 | △9,980,535 | | 第2号基本金 | 100,000,000 | 0 | 100,000,000 | |
| 資産の部合計 | 10,184,320,956 | 9,825,818,701 | 358,502,255 | | 第4号基本金 | 107,000,000 | 100,000,000 | 7,000,000 | |
| | | | | | 基本金の部合計 | 9,250,541,475 | 9,082,132,250 | 168,409,225 | |
| | | | | | 翌年度繰越消費収入超過額 | 239,294,624 | | 239,294,624 | |
| | | | | | 翌年度繰越消費支出超過額 | | △14,771,176 | 14,771,176 | |
| | | | | | 消費収支差額の部合計 | 239,294,624 | △14,771,176 | 254,065,800 | |
| | | | | | 負債の部、基本金の部 及び消費収支差額の部合計 | 10,184,320,956 | 9,825,818,701 | 358,502,255 | |

財産目録

(平成22年3月31日)

学校法人 青森田中学園

| | |
|----------|------------------|
| I 資産総額 | 10,184,320,956 円 |
| 内 基本財産 | 8,399,170,763 円 |
| 運用財産 | 1,785,150,193 円 |
| II 負債総額 | 694,484,857 円 |
| III 正味財産 | 9,489,836,099 円 |

資産額

1 基本財産

| | | |
|----------|--------------|-----------------|
| 土地 | 251,251.90 ㎡ | 1,893,206,662 円 |
| 建物 | 37,722.97 ㎡ | 3,405,293,077 円 |
| 構築物 | | 166,233,189 円 |
| 教具・校具・備品 | 20,909 点 | 229,547,598 円 |
| 図書 | 74,550 冊 | 327,110,092 円 |
| その他 | | 2,377,780,145 円 |

2 運用財産

| | |
|------|-----------------|
| 現金預金 | 1,700,976,693 円 |
| その他 | 84,173,500 円 |

資産総額 10,184,320,956 円

負債額

1 固定負債

| | |
|---------|---------------|
| 退職給与引当金 | 126,210,250 円 |
|---------|---------------|

2 流動負債

| | |
|-----|---------------|
| 未払金 | 84,962,303 円 |
| 前受金 | 438,889,111 円 |
| 預り金 | 44,423,193 円 |

負債総額 694,484,857 円

正味財産(資産総額-負債総額) 9,489,836,099 円

平成21年度事業報告(抜粋)

1 法人の概要

(H21.5.1 現在)

| 学校名 | 学部・学科等 | 学生・園児数 |
|---------------------|--|--------|
| 青森中央学院大学 | 大学院 地域マネジメント研究科 地域マネジメント専攻 (修士課程) | 26 |
| | 経営法学部・経営法学科 | 550 |
| 青森中央短期大学 | 食物栄養学科 | 146 |
| | 幼児保育学科 | 165 |
| | 看護学科 | 272 |
| | 専攻科福祉専攻 | 23 |
| 青森中央短期大学 附属第一幼稚園 | 3年保育 | 114 |
| 青森中央短期大学 附属第二幼稚園 | 3年保育 | 113 |
| 青森中央短期大学 附属第三幼稚園 | 3年保育 | 85 |
| 青森中央文化専門学校 | 服飾高等課程 服飾科 | 11 |
| | 服飾専門課程 服飾科 | 21 |
| 青森中央経理専門学校 | 商業実務専門課程 経理情報科 | 40 |

2 事業計画の概要

- ・学生の基礎力の向上及びモチベーションの向上方策の検討・実施
- ・学生の課外活動の充実
- ・施設整備工事
 - 自適館の改修
 - こぶし会館の改修
 - 柔道場改修
 - ハンドボールコート新設
- ・学生の就職・進路支援の充実
- ・青森中央学院大学日本高等教育評価機構による機関別認証評価の結果適格認定

監査報告書

学校法人 青森田中学園

理事会・評議員会 御中

私立学校法第37条第3項第3号及び寄附行為第15条第1項第3号の規定により、平成21年度学校法人青森田中学園の業務及び財産の状況について、理事長から学園運営の報告、重要書類の閲覧、会計監査人からの報告説明を受け、事業報告書及び計算書類等を調査しました結果、同学園の業務及び財産の状況に関して不正行為及び法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められませんでした。

また、財務に関する計算書類は学校法人会計基準に準拠しており、学校法人青森田中学園の平成22年3月31日現在の財務状態及び同日をもって終了する会計年度を適正に表示しているものと認めます。

平成22年 5 月 20 日

学校法人 青森田中学園

監事 大坂正道 (印)

監事 福原英治 (印)

(注) 監事 大坂正道及び監事 福原英治は両方とも私立学校法第38条第5項に定める外部監事であります。

平成22年度事業計画(抜粋)

1 法人の概要

(H22.5.1 現在)

| 学校名 | 学部・学科等 | 学生・園児数 |
|---------------------|--|--------|
| 青森中央学院大学 | 大学院 地域マネジメント研究科 地域マネジメント専攻 (修士課程) | 34 |
| | 経営法学部・経営法学科 | 575 |
| 青森中央短期大学 | 食物栄養学科 | 142 |
| | 幼児保育学科 | 176 |
| | 看護学科 | 282 |
| | 専攻科福祉専攻 | 17 |
| 青森中央短期大学 附属第一幼稚園 | 3年保育 | 109 |
| 青森中央短期大学 附属第二幼稚園 | 3年保育 | 106 |
| 青森中央短期大学 附属第三幼稚園 | 3年保育 | 66 |
| 青森中央文化専門学校 | 服飾高等課程 服飾科 | 7 |
| | 服飾専門課程 服飾科 | 17 |
| 青森中央経理専門学校 | 商業実務専門課程 経理情報科 | 37 |

2 事業の概要

- ・教育方針・教育目標を明確にし、教育課程の充実を図る
- ・学生の課外活動の積極的推進
- ・学生の就職・進路支援の充実
- ・施設整備
 - 事務室改修・学生サービスの向上
 - 1号館学生ホールの改修
 - こぶし会館改修

青森田中学園
H22年度後期分

インフォメーション広場

翔麗祭
9月18日(土)
9月19日(日)
開催

主要イベント

テーマ

百花繚乱 ~40th Anniversary~

- ★「ONE☆DRAFT」ライブ (9月19日)
- ★ミュージカル「ないたあかおに」
- ★コスチュームショー
「Chronicle~過去なう未来~」
- ★留学生スピーチコンテスト
- ★カラオケ大会
- ★学科、ゼミ、サークル展示
- ★模擬店
- ★園児作品
- ・・・他イベント多数

入試相談会 同時開催

| | | |
|------------|----------------------|----------------------|
| 青森中央学院大学 | 9/18 (土) 10:30~14:30 | 9/19 (日) 10:30~14:30 |
| 青森中央短期大学 | | |
| 青森中央文化専門学校 | | |
| 青森中央経理専門学校 | | |

青森中央学院大学

公開連続授業「郷土と文化」

| 開講日 | テーマ・講師 |
|--------------|-----------------------|
| 10月 6日~・毎週水曜 | 詳細等決定次第、HP等でご案内いたします。 |

会場：学術交流会館 時間：13:00~14:20

留学生による会話教室 (タイ語・マレー語・韓国語)

| 時間 | 期間 | 回数 |
|------------------|---------------------|-------------|
| 午後 (18:30~19:30) | 10月 5日(火)~10月19日(火) | 毎週火曜・金曜 全5回 |
| 午後 (18:30~19:30) | 11月 9日(金)~11月26日(金) | 毎週火曜・金曜 全5回 |
| 午後 (18:30~19:30) | 12月 3日(金)~12月17日(金) | 毎週火曜・金曜 全5回 |

会場：学術交流会館内 国際交流センター

日本語教授法研究セミナー「授業デザインの考察」

| 開催日 | 時間 | テーマ | 講師 |
|---------------|-------------|----------|--|
| 第1回 11月 6日(土) | 10:00~17:30 | 授業案を再考する | 渡部 真由美氏 (独立行政法人日本学生支援機構 東京日本語教育センター) |
| 第2回 11月 7日(日) | | 授業を改善する | |

図書館情報センター主催特別展示「伊達政宗の支倉常長、慶長遣欧使節関係海外資料展」

| 会期 | 会場時間 | 会場 |
|---------------------|--------------------------------------|------------------------|
| 10月13日(水)~11月12日(金) | 9:00~19:00 (平日) / 9:00~17:00 (土曜) | 青森中央学院大学1号館 1階ギャラリー |

図書館情報センター主催特別講演会

| 開催日 | 時間 | 演目 | 講師 |
|-----------|--------|----------------|----------|
| 10月30日(日) | 13:30~ | 伊達政宗の二人の隠密遣欧使節 | 教授 大泉 光一 |

青森中央短期大学

開学40周年記念企画

会場：学術交流会館 時間：13:30~

| 開催日 | 演目 | 講師 |
|-----------|----------------------------------|---------------------|
| 9月11日(日) | その人らしさを引き出す本当の介護とは | 青山幸広氏 ケアプロデュースRX組代表 |
| 10月 2日(日) | 奇跡のリンゴを育てる ~自然から学び、自然を喜ばせる農業~ | 木村秋則氏 木村興農社代表 |

親子クッキング

| 開催日 | 時間 | 内容 |
|---------------|-------------|---------------------------------------|
| 第2回 12月11日(日) | 10:00~12:30 | クリスマス親子クッキング ~キャラクターのパーティー料理を作ろう!~ |

公開講座・催し物のお問い合わせ

学校法人 青森田中学園 公開講座担当
Tel: 017-728-0121 / Fax: 017-738-8333

編集委員

編集長 加藤 澄

中村 實枝子

牧野 晴子

坪谷 輝子

中田 尋美

青森中央経理専門学校・青森中央文化専門学校

公開講座

会場：学術交流会館

| 開催日 | 内容 | 対象 |
|------------------|-------------------|----|
| 11月 6日(土) 10:00~ | 学生によるパソコン教室 年賀状作成 | 一般 |

オープンキャンパス

青森中央学院大学

時間：13:00~16:00

| 開催日 | 内容 |
|-----------------------|------------------------|
| 10月 2日(土) 2月26日(土) | 学部・要項説明、模擬授業、キャンパスツアー等 |

青森中央短期大学

時間：13:00~16:00

| 開催日 | 内容 |
|-----------|---------------|
| 10月 2日(土) | 「短大の授業を体験しよう」 |
| 2月26日(土) | 「進路について考えよう」 |

青森中央経理専門学校

時間：13:00~16:00

| 開催日 | 内容 |
|-----------|---|
| 10月 2日(土) | カンタン仕事体験 ・経理事務コース「FP(税金 不動産等)」 ・医療事務コース「カルテを読もう 薬のアレ・コレ等」 ・観光コンシェルジュコース「観光業(旅行業法 運輸等)」 |
| 2月26日(土) | カンタン仕事体験 営業事務(ビジネスマナー・名刺作成) |

青森中央文化専門学校

時間：13:00~16:00

| 開催日 | 青森中央文化専門学校 |
|-----------|-------------------------------|
| 10月 2日(土) | 簡単&カワイイラッピングテクニック/アパレルCADに挑戦! |
| 2月26日(土) | 色のフ・シ・ギ~不思議な力を持つ色の世界~ |

青森中央短期大学附属第一・第二・第三幼稚園
中央文化保育園・浦町保育園

公開保育「思いっきり水遊び」

| | 開催日 | 内容 |
|-----|----------|---|
| 第2回 | 8月28日(土) | 時間：いずれも10:00~12:00 対象：幼稚園就園前の園児とその親 受講料：無料 場所：キャンパス内 室内プール |
| 第3回 | 9月 4日(土) | |

行事

| | 秋の参観日 | 幼稚園祭・バザー | お遊戯会 |
|---------|-----------|----------|-----------|
| 附属第一幼稚園 | 10月2日(土) | 10月3日(日) | 11月21日(日) |
| 附属第二幼稚園 | | | 11月20日(土) |
| 附属第三幼稚園 | | | 11月20日(土) |
| 中央文化保育園 | 10月23日(日) | | 12月 4日(日) |
| 浦町保育園 | 10月16日(日) | | 12月 5日(日) |